



～ 風を切るたび、  
笑顔が広がる ～

み  
ん  
な  
の  
議  
会



第 79 号

2025.11.1

今号の Topics

あなたの声で町が変わる

P 3

私たちの税金はどう使われたか

P 4



## No.7 がんばっている人 応援し隊



須田徳幸さん

須田さんが育てるスプレー菊

岩井親水公園で毎年開催される「東吾妻町すいせん祭り」をご存知でしょうか。1 kmに及ぶ桜並木と水仙とのコラボレーション。国内でも有数のラッパ水仙の名所となっております。その素晴らしい景色を演出しているスタッフの1人、須田徳幸さんにお話を伺いました。

**問** まずは須田さんの経歴など、お聞かせください。

**須田** 以前は地元でサラリーマンをやっていて、定年前に退職して現在は農家をしています。

**問** すいせん祭りに携わるきっかけは？

**須田** 私の地元「原組愛好会」という親睦会があります。資料によると昭和45年設立です。先輩から聞いた話ですが、今から数十年前に岩井河原の球根育成用の水仙畑が栽培者の撤退によりなくなる状況になったそうです。その時に地元の先輩方や町が相談して、景観保全のために「すいせんの郷を育てる会」で管理し、愛好会がその実行部隊となるということになったそうです。私もその愛好会の一員なので、先輩方の指導のもと、水仙畑の草刈り・土寄せなどの作業をしています。



桜並木と水仙畑

水仙畑の作業

**問** 岩井河原の桜並木や水仙、彼岸花などの育成に積極的に取り組まれていて、ご苦労も多いと思いますが？

**須田** 私自身は作業の連絡に応じて出掛けるだけなので案外気楽ですが、役員をされている諸先輩方は苦労していると思います。作業は結構大変です。私も作業に出られない日が多いのですが、年間10～20日くらいの作業があります。年と共に年々きつくなってきました。特に夏場の作業は厳しいです。

**問** 須田さんは地域の役員もされていて大変お忙しいでしょうね。

**須田** 役員の仕事と、水仙畑の作業などの日程が重なって育成作業に出られないことがしばしばありますので、他のメンバーに対してちょっと心苦しいです。

**問** このような活動を通じて得たものはありますか？

**須田** 飲み会中心のグループだった親睦会が、飲み会＋ボランティア活動のグループになって、以前より結び付きが強くなった気がします。

**問** 今後の抱負や目標をお聞かせください。

**須田** この景観を残したいという私たちの思いを、どうしたら保てるかを考えていきたいと思います。

**問** 今後、地域や町はどうあるべきかお聞かせください。

**須田** 難しいことは分かりませんが、若い人が住み続けられる地域になってほしいと思います。

「がんばっている人応援し隊」のコーナーでは、東吾妻町でがんばっている個人や団体を紹介します。このコーナーに登場してくれる個人や団体を募集します。自薦他薦は問いません。お近くの議会広報特別委員または議会事務局までお声がけください。

[gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp](mailto:gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp)

皆さんの声を  
議会だよりへ

## 日本奏楽コンクール 1位 受賞!!



丸橋 舜さん

みんなの議会第75号の「がんばっている人応援し隊」で紹介した丸橋舜さんが、8月に行われた日本奏楽コンクール管楽器部門大学の部で、見事に1位・エトワール賞に輝きました。また、ジェネラル音楽奨学賞も併せて受賞されました。

11月30日には、ぐんま新人演奏会に参加され、サクソフォンを演奏をされる予定です。

これからのご活躍を、楽しみにしています。

### 開催日

日時 令和7年11月9日（日曜日）  
会場 東吾妻町コンベンションホール

### 議会報告会

10:00～11:30

議会活動の様子を報告いたします。  
ぜひ会場にお越しください。

### ランチョンセミナー

11:40～12:00

「おいしく減塩するコツ」

講師 東吾妻町保健センター  
管理栄養士 菊地 薫さん



### カフェタイム（懇談会）12:00～14:00

和やかな雰囲気の中、  
昼食をとりながら議員と懇談しませんか。

町の食生活改善推進協議会の方に作っていただいた  
ヘルシーランチを無料提供いたします。

※50食限定。なくなり次第終了となります。



※写真は昨年メニューです。

あなたの声で町が変わる  
議会報告会を開催します



# 令和7年第3回 定例会

## 私たちの税金はどう使われたか ～令和6年度東吾妻町一般会計決算～

令和7年第3回定例会が、9月3日から16日までの14日間、役場庁舎3階の議会議場で開かれました。会期中、町長から提案された令和6年度各会計の決算・条例改正などの議案が審議され、いずれも原案どおり全会一致で認定・可決されました。町政一般質問には2人が登壇し、町政をたしました（15ページをご覧ください）。

### 一般会計決算を認定

歳入歳出差引額は2億7433万円で、翌年へ繰り越す財源が7929万円あるため、実質収支額は1億9504万円の黒字でした。

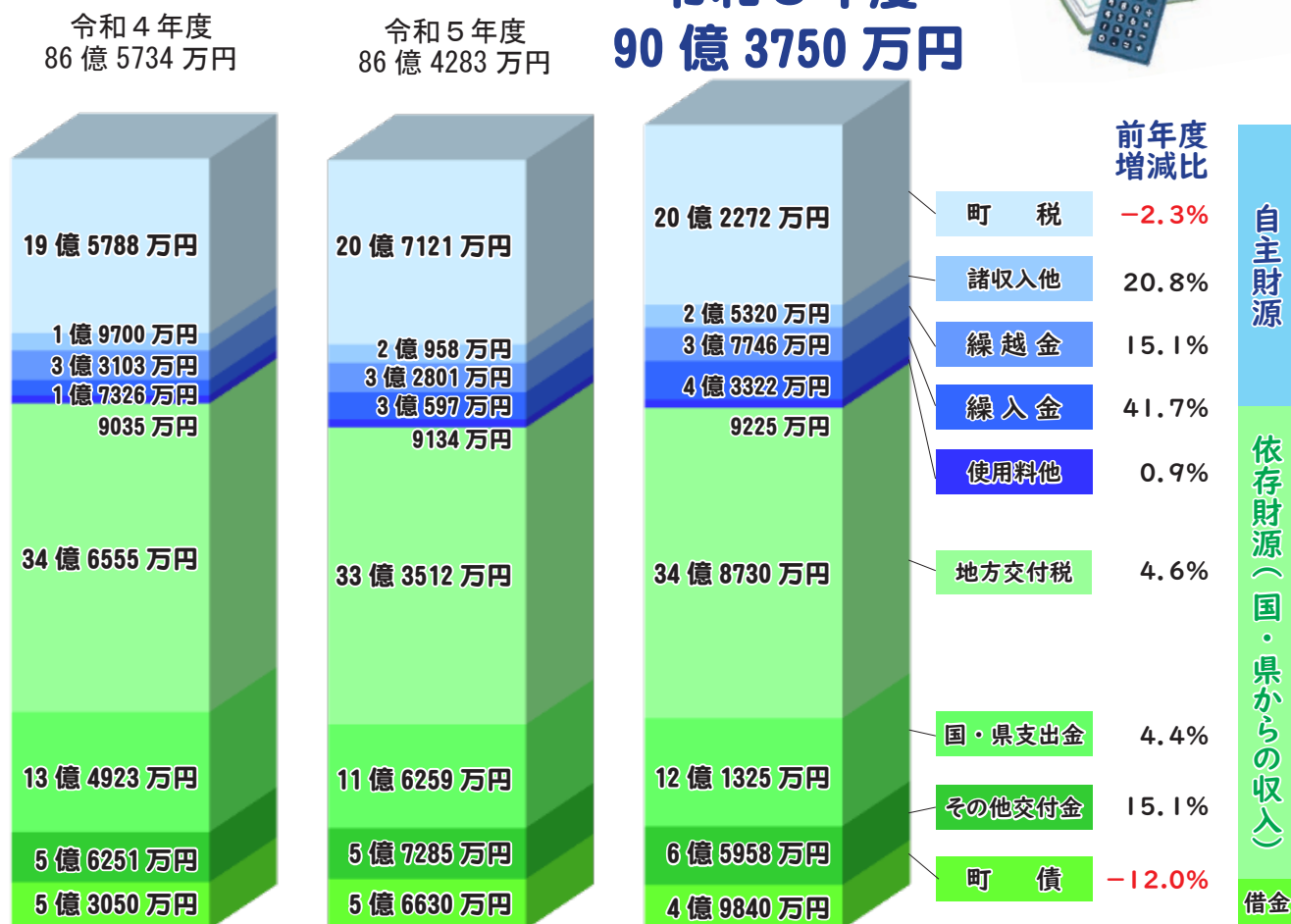
◆歳入  
決算額は、前年度と比較して4.6%増で、3億9466万円増となりました。

町内事業所の収益増加により法人町民税は16.4%増でしたが、個人町民税は定額減税が実施されたことで8.8%減となり、町税全体では2.3%減となりました。

地方交付税は前年度比4.6%増、国・県支出金が4.4%増、繰入金が41.7%増、町債は12.0%減となりました。

### 過去3年間の歳入総額の推移

\* グラフ表示は1万円未満を切り捨てて表示しています。



◆歳出  
前年度と比較して4億9978万円（6.0%）増となりました。

民生費の占める割合が歳出全体の24.5%と最も多く、前年比13.5%増。低所得世帯支援や物価高騰対策支援等の事業費、児童手当の改正などが増加の主な要因です。

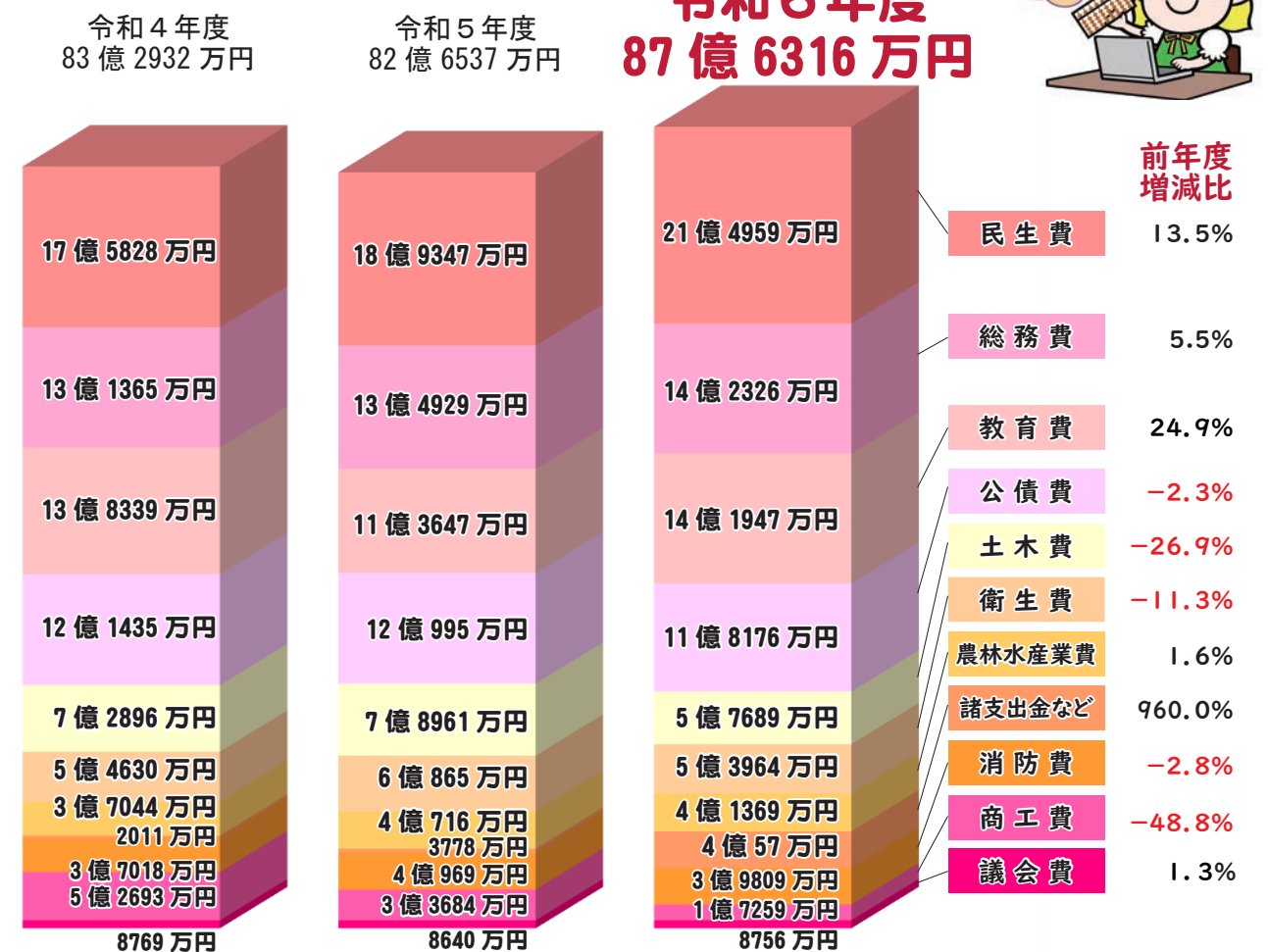
総務費は、箱島地区の土地購入費や旧岩島第二小の解体など、財産管理事業費の増加により前年比5.5%増となりました。

教育費は、中央公民館耐震改修工事や小学校施設の改修・補修工事などにより、前年比24.9%増となりました。

諸支出金などは、令和6年度から簡易水道事業と下水道事業が公営企業会計となったことに伴い、それぞれの公営企業会計へ補助金、出資金、貸付金を支出したことから、前年比では大幅な増加となりました。

### 過去3年間の歳出総額の推移

\* グラフ表示は1万円未満を切り捨てて表示しています。



補修が済んだ  
群馬原町駅  
歩道橋

### 【主な歳出】

- ・低所得世帯等支援給付金事業 1億5751万円
- ・〃（繰越分） 3929万円
- ・物価高騰対策支援給付金事業 4422万円
- ・旧岩島第二小・幼稚園等解体工事 5742万円
- ・森林環境譲与税事業 2049万円
- ・原町駅歩道橋補修事業 4318万円
- ・上信自動車道関連事業（繰越分含む） 5792万円
- ・原町小屋内運動場改修工事（繰越分） 5768万円
- ・中央公民館耐震改修工事 1億509万円

\* 1万円未満を切り捨てて表示しています。



# 予算決算特別委員会

9月9～10日、町長・副町長・教育長ほか、各課長が出席し、予算決算特別委員会が議場で開催されました。重野能之委員長の進行により令和6年度一般会計決算について、質疑を中心に審査が行われました。

委員会では活発な質疑が行われ、令和6年度一般会計歳入歳出決算は、「認定すべきもの」と全会一致で決しました。

## 各委員の主な質疑

### 斎藤貴史 委員

#### ◆これでいいのか総合戦略

**問** 町は2040年に人口1万人を目指す、完成した総合戦略では35年でそれを下回り、目標年40年に8千人、50年に6千人とある。しかしなぜか40年に1万人を目指す。だが抜本的に変えるアクションの明記はない。これで大丈夫か。

**企画課長** 上位計画の総合計画と整合性をとり目標設定し

た。人口減少対策に取り組む中で、次期計画につなげていきたい。

#### ◆歳入増やせませんか

**問** 国・県の補助金について、観光・文化などで募集が多数あるが、町の活用例がない。財政負担少なく、町単費ではできない挑戦も可能。昨年は観光協会が観光庁事業に応募、補助率100%補助金額5000万円を得た。本来は町が行うのが望ましい。財政運営厳しい今こそ、取り

組まないか。

**まちづくり推進課長** 国庫補助等の活用が少ないことは指摘しており。町の活用はもちろん、関係団体との連携を密に、積極的に活用したい。



### 増子京子 委員

#### ◆誤発進防止装置設置補助金について

**問** 決算書には誤発進防止装置設置補助金の記載がないようだが、利用者はいなかったか。また運転免許自主返納者が66名のようなことがか。

**総務課長** 誤発進防止装置設置補助金については推進をしているが、昨年度につい

ては0人であった。近年、自動車にあらかじめ防止装置が設置してあるため利用者が少ない。運転免許証自主返納者に関しては毎年同じくらいの人数で返納されており、今までの合計で約700名の方が返納されている。

#### ◆子宮頸がん予防ワクチンについて

**問** 決算書内で子宮頸がん予防ワクチンはどこに含まれているか。またHPVウイルスには男子も感染するこ

とから近年男子の接種をしているところもあるようだが、わが町での男子の接種は。

**保健福祉課長** 子宮頸がんワクチンはこども定期予防接種委託料の中に内包されている。現在、男子の接種は含まれていない。国からの積極的推奨の動向があればそれに合わせていく。



### 渡 一美 委員

**問** 時間外勤務をする際の決まりごとはあるか。

**総務課長** 時間外勤務は所属長の命令で行い、勤務命令簿に記録している。DXやAI活用で時間外勤務時間の削減を図りたい。災害や選挙時は増加の可能性もある。

**意見** 退職者増に伴い職員の残業が増える懸念がある。人件費推移を注視し、意向調査や福利厚生を考慮した環境整備を。



**問** パソコンリース料の内容は。  
**学校教育課長** 小中学校で計160台の端末をリースしている。契約満了後は、返却または他分野で活用している。現在はGIGAスクール構想により1人1台端末を整備している。

### ◆学校プール維持について

**問** 使用回数は少ないが泳げる環境の確保は重要。放課後や夏休みでの活用も要望したい。

**学校教育課長** 水泳は必須科目で年間約10時間実施している。プールは必要であり、維持費削減や安全指導の確保は課題である。今後の方針は教育委員会で検討していく。



### 井上日出来 委員

#### ◆基金の有効活用について

**問** 過去5年間の物価上昇率は平均11～12%になる。町積立基金は総額50億円以上になるが、5年前に積んだ基金は約1割目減りしたことになる。今後インフレも懸念されるため、基金の積み立て方や運用を慎重に検討すべきと思うがいかがか。

**会計課長** 一部は債権運用や利率の良い預金など有利

な方法を選んでいる。

**問** 基金を積むことも大切だが発想を転換し、今はお金を積むより町内の商工関係や消費者へ金が循環するような積極的な町の施策に取り組むべきでは。

**副町長** 町民の信頼を失うことがなく、また元本割れがないような運用にシフトしていく。指摘の点は今後も勉強してまいりたい。

### 高橋徳樹 委員

**問** 財政書類作成業務委託料429万円の内容と目的は。

**企画課長** 令和7年度までに財務4表を作成公表する必要があり、その業務委託費で、財政の「見える化」を図っている。

#### ◆観光協会への費用対効果は

**問** 観光協会への補助金額2393万7000円の用途と今後の方向性は。

**まちづくり推進課長**

①事業運営補助（パンフレット作成、人件費など）200万円、②応援事業補助（宿泊者に1人1000円の商品券配布）393万7000円、③その他観光振興補助（すいせん祭り、花火など）に517万円。今後も費用対効果を十分考慮し事業を進めたい。

#### ◆町営住宅用地借上対策は

**問** 町営住宅では用地借上料約459万2000円、修繕費約332万円と大きな支出であるが。

#### 町の主な基金

・財政調整基金	35億349万円
・庁舎建設基金	1億6514万円
・減債基金	3億8386万円
・福祉事業基金	1億1290万円
・合併市町村振興基金	4億8627万円

その他基金含む25基金の合計額  
50億8719万円

#### その他の質疑

- ・遺跡出土品の非破壊検査の結果は
- ・EPS業務委託料の費用対効果は
- ・社会福祉協議会への貸付金の返済計画は
- ・町内キャンプ場の各課題解決を

**建設課長** 用地を借りている団地は内出・上河原・矢倉・赤祇の4団地がある。借地面積は約1万7300㎡あり、9人から借上げている。建物は築50年経過しており入居調整を図りながら、古いものから順次撤去し借地返還を進めていきたい。

#### その他の質疑

- ・役場本庁とコンベンションホール敷地賃借料
- ・空き店舗活用事業
- など



## 里見武男 委員

◆EV車の急速充電器について  
問 役場本庁舎と道の駅あがつま峡の急速充電器保守点検業務について、現状は。



総務課長 令和7年3月31日をもって一旦休止となっている。

◆奥田旧直売所について  
問 奥田地区の直売施設管理事業について説明をいただきたい。

農林課長 県道の旧道に面しており、豚熱や鳥インフルエンザが発生した場合にトレーラー等の消毒ポイントや農林課が保有するチップや防疫用の消耗品の仮置き場として利用を図りたい。また、隣接しているトイレは公衆トイレとしての利用は考えていない。

◆カモシカ保護事業について  
問 施策の中にあるカモシカ保護事業費の内容について聞きたい。

社会教育課長 10頭減失した処分費となる。

## 小林光一 委員

◆入湯税減収の要因は  
問 貴重な財源である入湯税が大幅に減少しているが。

税務課長 入湯税減少の主な要因は、1事業者の一時的な休館によるためである。  
◆補助金等の区別は  
問 財政的支援として補助金、負担金、助成金等があるが、区別して使用しているか。

保健福祉課長 町としては区別して使用している。

問 決算書の中之条病院健全化補助金、また原町赤十字病院医師確保対策補助金とあるが、それぞれ負担金、助成金の間違いではないか。

保健福祉課長 指摘のとおり改める。  
◆中学生海外派遣事業について  
問 中学生海外派遣事業の委託料、約320万円の内容は。また、令和7年度は台湾基隆市で予算化できず、中止とのことである。中学生が見

聞を広げることは成長するために重要なことなので、他の国への国際交流に拡大すべきではないか。

学校教育課長 旅費、宿泊費、食事等の委託料で、派遣中学生1人に4万円の負担を頂いている。派遣事業ではあるが、基隆市との交流事業と捉えている。

### その他の質疑

- ・町たばこ税について
- ・NHK放送受信料について
- ・がん検診事業について

## 竹淵博行 委員

◆一般会計からの貸付金について  
企画課長 公営企業会計等への貸付金の関連で、竹淵委員より指摘を頂いた。自治法施行規則により、債権に関する調書の記載が必要であることが確認できたので、差替えをお願いしたい旨、報告させていただく。

◆民生費について  
問 社会福祉協議会への長期貸付金3000万円につ

いて確認するが、このお金は、一般会計からの貸付金なので、債権として調書に記載されなければ決算上消滅することにならないか。

保健福祉課長 委員指摘のとおり、一般会計の単年度決算上のみの記載であり、貸し付けた記録が残らないことを理解、学習させていただいた。

町長 竹淵委員から指摘を頂き、担当課長もしっかり学習したということである。今

後こういうことのないようにしていく。

### その他の質疑

- ・森林環境譲与税について
- ・総務費流用について
- ・衛生センター建設基金について
- ・キャンプ場管理運営事業について
- ・公園管理事業について
- ・あづま温泉桔梗館について
- ・町民体育館へのエアコンの設置について
- ・公営企業会計の債務について

## 佐藤聡一 委員

◆農業次世代人材投資事業補助金は

問 今回当町では若者の就農が5名もいる。農業を再生するために、商工業事業にある若者起業支援補助金、企業立地促進条例関連奨励金の農業版を創って新規就農者を増やす努力をすべきでは。

農林課長 次世代人材投資事業は5年間営農を続けることで、収入保険加入につな

がり、認定新規就農者になれば、県の補助事業対象者になり機械導入、施設整備など、町の単独事業よりも補助率の高い事業で規模拡大を目指す。

◆人口減少の認識は  
問 総合戦略で2040年に住民1万人を目指すとなっているが、国立社会保障・人口問題研究所推計で8千人、実際は6千人という予測もある。今回上下水道の決算を見ると今後の維持に

大変問題がある。やはり計画の人口予測の分母の現実性が必要では。

町長 分析は出来ているので、町民の皆様が将来に希望を持てるよう職員と一体となって検討をしていく。

### その他の質疑

- ・ふるさと納税について
- ・移住定住対策について

## 予算決算特別委員会 総括

## 重野能之委員長

令和7年第3回定例会における当委員会には「令和6年度東吾妻町一般会計歳入歳出決算認定について」の審査が付託されました。これは、令和6年度予算の執行状況と事業効果などを検証するものです。審査においては、各委員から熱心な質疑が行われ、執行部か

ら答弁を頂きました。慎重審査の結果、全会一致で認定すべきものと決しました。



歳入総額90億3750万円、歳出総額87億6316万円となり、差引2億7433万円となりました。

監査委員からのさまざまな意見なども参考にしながら、厳しい地方の時代をのりきり、希望ある町づくりに向けて、町と議会が力を合わせて、さらに前に進めたらと思います。

## 「議会だより」の表紙の写真を募集します!

「議会だより」の表紙に掲載する町の「風景」や「行事」などの写真を募集しています。自然豊かな町の風景や子どもたちの笑顔など表紙を飾る写真を募集中!

次号は2月発行。冬らしい写真を募集します。

詳しくは、東吾妻町議会ホームページをご覧ください。





# 特別会計・事業会計決算

特別会計・事業会計決算については、総務建設常任委員会と文教厚生常任委員会に審査が付託されました。各委員会での審査の結果、各会計とも「可決すべきもの」と決定されました。

## 総務建設常任委員会

### 水道事業会計

給水戸数4203戸で前年より38戸減、配水総量は123万㎡で、前年から1.3万㎡減でした。未処分利益剰余金は3億3022万円でした。給水戸数、配水量ともに減少が続いています。

### 簡易水道事業会計

令和6年度から公営企業会計となりました。給水戸数1175戸で前年から3戸増、配水総量は57.2万㎡で前年から0.1万㎡増でした。資本剰余金234万円を減債積立金へ積立することが可決されました。

### 下水道事業会計

令和6年度から公営企業会計となりました。公共下水・農業集落排水・合併浄化槽ともに、処理区域内人口、処理水量の減少が続いています。

### 地域開発事業特別会計

実質収支額は16万円でした。

会 計 名		歳入総額	歳出総額
水道事業会計	収益的	1億9987万円	1億9982万円
	資本的	2億4888万円	2億4295万円
簡 易 水 道 事 業 会 計	収益的	1億336万円	7895万円
	資本的	1億4921万円	1億4026万円
下 水 道 事 業 会 計	収益的	3億9077万円	4億6508万円
	資本的	2億9790万円	2億6041万円
地域開発事業特別会計		941万円	925万円

\* 1万円未満を切り捨てて表示しています。

## 質疑

問 竹淵博行 議員

総務建設常任委員会の中で、減耗処理の審査はしたのか。

答 高橋徳樹 総務建設常任委員長  
担当課長より説明を受け審査した。

問 竹淵博行 議員

事業費用における町の負担額に関係するので、今後もしっかりと審査してほしい。

## 文教厚生常任委員会

### 国民健康保険特別会計【事業勘定】

実質収支額は180万円で、そのうち国民健康保険基金へ100万円繰入れました。決算年度末における基金現在高は、2399万円減の3045万円でした。

被保険者数の減少傾向が続くなか、基金残高も減少が続いています。

### 【施設勘定】

歳入歳出差引額は1168万円でした。受診者数は、前年から358人減少し、延

べ3746人でした。診療収入も288万円減少しました。

### 後期高齢者医療特別会計

実質収支額は467万円でした。保険料収納率は99.95%でした。

会 計 名		歳入総額	歳出総額
国民健康保険 特 別 会 計	事業勘定	15億1825万円	15億1645万円
	施設勘定	7386万円	6218万円
後期高齢者医療特別会計		2億6364万円	2億5896万円
介護保険特別会計		18億2848万円	17億5116万円

\* 1万円未満を切り捨てて表示しています。

### 介護保険特別会計

実質収支額は7732万円でした。介護保険介護給付費準備基金は、前年度から4386万円増の2億6416万円です。保険料収納率は99.85%でした。

## 監査委員からの報告

7月10日～8月7日まで  
決算審査を実施しました。

令和6年度決算審査の結果、予算の執行・会計経理事務などは適切に処理されている。しかし、次に挙げる事項は、検討の上早急に善処されるよう要望する。

### ●コンプライアンス

全職員を対象としたコンプライアンス研修が行われたが、参加者は対象職員の半分にも満たなかった。研修開催日を複数設けるなど、より多くの職員が受講しコンプライアンス遵守への意識向上につながる取り組みを期待する。

### ●電気料抑制について

小学校全体では経費の改善が見られた。しかし、昨年冬場のウォームビズに取り組む重要性を指摘した本庁舎については、逆にその冬で最大需要電力が上がってしまった。冬場だけでも組織的な対策ができれば年間の電気料金を大きく削減することが可能であり、再度の取り組みを期待する。

### ●業務上の各種計画作成について

「計画づくり」は、そのプロセス自体が目的の再確認

や新たな課題の発見につながり、組織や個人の成長を促す糧ともなる。町のことをよく知る職員が経験と知恵と責任を結集して積極的にその作成に関与していくことを求める。

### ●魅力ある事業の展開について

大きな予算はかけずとも、特色ある事業の展開は可能で、町の未来に希望を感じさせる政策形成力が求められている。中長期的な波及効果や「町に対する誇りと関与を高める視点」も含めた施策の企画・実行を期待する。

### ●組織活動への補助金について

町内の各種団体や組織に対して活動補助金が支出されているが、必要に応じて事業報告や会計報告を精査し、適正に使用されているか検証を求める。補助金の支出に当たっては、慣例に基づくだけでなく、適宜増減するなどの措置を講じたり、要領・要綱等の改正や見直しに努めて欲しい。

### ●移住・定住促進について

危機的な人口減・少子高齢化が進む中で、移住・定住促進事業を継続的に推進しているが成果は出ておらず、費用対効果が著しく低い。事業内容を抜本的に見直す必要を感じる。戦略的かつ物語性のある移住・定住促進事業としてもらいたい。

### ●水道・簡易水道・下水道事業について

企業会計として独立採算を基本とした運営が求められる。補助金に頼らないよう効率化に努め、経費削減に取り組むことが喫緊の課題となっている。さらに将来返済しなければならない負債は、3事業合わせ68億円を超えている。将来世代への負担とならぬよう経営の健全化が望まれる。

### 《簡易水道事業》

有収率が51.6%と極めて低く、浄水した水の半分しか料金収入になっていない状態である。さらに大量の漏水が起きていることも想像され、住民の生命と財産を守るためにも迅速な対策を求める。

### 《下水道事業》

農業集落排水施設・設備の老朽化は今後ますます進み、経費が高くなっていくことが想定される。国内の自治体の中には大規模な合併処理浄化槽への転換を行い、維持管理費を大幅に削減している事例がある。転換が実現できれば、事業の効率化・人件費の削減も進み、下水道事業改善に大いに有効であると考ええる。

東吾妻町監査委員  
剣持伊佐男  
齋藤 貴史



# 実質公債費比率 将来負担比率

## 3年連続で上昇 改善続く

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実質公債費比率	11.2 (25.0)	11.7 (25.0)	11.8 (25.0)
将来負担比率	19.7 (350.0)	13.7 (350.0)	12.5 (350.0)

両比率とも、それぞれ早期健全化基準（カッコ内の数値）を下回っており、財政は健全な状態と言えます。  
しかし県内の自治体のうち、実質公債費比率は2番目に悪い数値であり、県平均5.9を上回っています。令和6年度も3年続けて上昇しており、改善が求められます。  
将来負担比率も県平均を上回ってはいますが、改善傾向が続いています。

**実質公債費比率…**  
借入金（地方債）の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標

**将来負担比率…**  
地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標

## 条例改正

東吾妻町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 →地方公共団体情報システムの標準化により「住登外者宛名番号管理機能」が導入されることに伴う改正。
東吾妻町浄化槽市町村整備推進事業に関する条例の一部を改正する条例 →浄化槽法の改正による改正。併せて使用料の賦課・徴収規定に減免規定を新たに追加するもの。

## 工事請負契約の締結 町道1183号線改良工事

契約金額	1億6775万円
契約方法	条件付一般競争入札
契約の相手方	南波建設株式会社 代表取締役 南波将彦（原町）



町道1183号線（川戸）

## 人事案件

### 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴う次期候補者に、桑原三七次さん（郷原）を適任と認めました。任期は令和8年1月1日から3年間です。

## 選挙

### 烏帽子山植林組合議会議員選挙

烏帽子山植林組合議会議員の任期満了に伴い、指名推選により以下の11名が当選しました。  
高橋弘、齋藤貴史、増子京子、渡一美、井上日出来、高橋徳樹、里見武男、小林光一、重野能之、竹渕博行、佐藤聡一

## 令和7年度補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	5954万円	93億456万円
国民健康保険特別会計		
事業勘定	140万円	14億5362万円
施設勘定	165万円	7165万円
後期高齢者医療特別会計	445万円	2億7101万円
介護保険特別会計	7151万円	19億3850万円
地域開発事業特別会計	0円	1472万円

**一般会計補正予算（第2号）**は、歳入歳出それぞれ5954万円を追加し、総額を93億456万円としました。老朽化が進み建て替えが検討されている坂上小学校屋内運動場の設計業務委託料として1500万円が計上されました。また、国の物価高騰対策による定額減税補足給付金支給事業1116万円、農業者物価高騰対策支援金700万円などが追加されました。農地費として県・町の小規模土地改良事業に、併せて730万円の追加がありました。その他、上信自動車道に関連し、防災無線の移設工事費600万円などが計上されました。

**国民健康保険特別会計補正予算（第2号）**は、事業勘定として、子ども子育て支援金制度に係るシステム改修など140万円の追加、また施設勘定として、薬剤自動分割分包機の購入費110万円などが計上されました。

**後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）**は、子ども子育て支援金制度に係るシス

テム改修など445万円を追加しました。  
**介護保険特別会計補正予算（第1号）**は、介護給付費準備基金積立金3552万円、介護給付費等の精算に伴う償還金3543万円などが追加されました。  
**地域開発事業特別会計補正予算（第1号）**は、宅地造成事業の財源更正が行われました。

### 質疑

問	井上日出来 議員 坂上小学校屋内運動場について、概算建設費が約2億8千万円とされているが、財源はどのようなものを考えているか確認したい。
答	学校教育課長 財源については、起債して建設費に充てることになると考えるが、財政負担を軽減すべく予算編成時に調整して取り組んでいきたい。

## 今回の陳情

陳情	継続審査	地域住民の医療確保のため大戸診療所を東吾妻町国保診療所として運営していただくことの陳情書	医療法人坂上健友会 理事長 高柳 孝行	文教厚生 常任委員会
----	------	--	------------------------	---------------

定例会・臨時会の会議録は、東吾妻町議会のホームページでもご覧いただけます。一般質問等の質疑応答は編集してあります。  
本会議中の正確なやり取りについては、東吾妻町議会ホームページの会議録（12月中に掲載予定）をご覧ください。





# 第3回 臨時会

令和7年7月2日

## 工事変更請負契約の締結

目的	中央公民館耐震改修工事
契約金額	変更前 2億6763万0000円 変更後 2億7800万3000円
契約方法	条件付一般競争入札
契約の相手方	南波建設株式会社 代表取締役 南波将彦（原町）



中央公民館

### 質疑

**問** 小林光一 議員

2階大会議室天井改修にあたって、内部に足場を組む工法に変更したこと、また、空調機交換を今回2台減らしているが、設計当初には分かっていなかったのか。

**答** 社会教育課長

今回の工法については、施工業者、現場監理者、発注者の3者で協議をして決めた。空調は設計の段階では全部交換の予定だったが打ち合わせをしていく中で、まだ使えるため取り替えないこととなった。

**問** 竹淵博行 議員

今回の契約については特に問題はないと考える。

確認だが、外壁に使われていた塗料からアスベストが検出されたことによる除去工事について、解体をしない部分の外壁の塗料には

アスベスト成分が含まれたままで、その上に今回新たに塗装することになるが、それで問題はないのか。

**答** 社会教育課長

解体しない部分に関しては、粉塵が舞って作業員等が吸い込む危険がないので、そのまま上から新たに塗装した形である。工法的にも問題ないことを確認した。新たに解体する際には、またアスベストの除去が必要となる。

**問** 佐藤聡一 議員

内装の改修は今回は行わなかったのか。また、バリアフリーへの対応を早急に行うべきではないか。

**答** 社会教育課長

今回は耐震化をメインに、アスベスト除去、電気・空調・衛生設備の改修を行った。

車椅子ごと移動可能な階段昇降機の設置を考えている。使用開始までに設置したい。

## 車両スリップ事故による損害賠償

損害賠償の額	352,996円
賠償の相手方	法人：(医)輝城会 個人：法人勤務 従業員1名

### 内容

町が保有する公有自動車において、凍結路面で発生したスリップ事故に起因する相手方への損害賠償の額は議会の議決を要することから、本会議で可決されました。

### 質疑

**問** 竹淵博行 議員

町で保有している公用車にはドライブレコーダーが付いている車両が少ないと聞いている。事故が発生した場合の証拠を残すためにも全車両へ設置すべきではないか。

**答** 総務課長

今後段階的に、車両への装備を検討していきたい。



一般質問は  
こちらから

# 町政を問う！

今定例会では2名が登壇しました。

- P16・・・増子 京子 議員「誰もが挑戦できる農業の6次産業化について」  
P17・・・井上日出来 議員「終活支援で余生の不安取り除く施策を」

## 一般質問とは

定例会において議員が行政全般にわたり町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、答弁を求めることです。一般質問は通告書に基づいて行われます。

## 皆さんの声を町政に！

水仙ちゃんが陳情の仕方を紹介します

議会は、町政に対する意見や要望を陳情や請願として受け付けています。受付締め切りは、年4回（3月・6月・9月・12月）の定例会前の議会運営委員会前日です。議会事務局に持参または郵送で提出してください。



令和7年11月1日

東吾妻町議会 ○○議長 様

水仙ちゃんとお泊まりキャンペーン  
企画実施の陳情書

377-0801  
東吾妻町大字原町1046  
水仙ちゃん  
68-2111

(趣旨) 水仙ちゃんとお泊まりキャンペーンの企画を要望します。  
(理由) 東吾妻町のPRのためにがんばっている水仙ちゃんと一緒に泊まりたいちびっ子の夢を叶えるため、町の宿泊施設に水仙ちゃんと泊まれるキャンペーンを企画し、町のPRを活性化させたい。

\*この陳情書は参考例です。

### 陳情書の書き方

- ①提出年月日
- ②東吾妻町議会議長宛
- ③陳情書の表題
- ④陳情者の郵便番号、住所、氏名（署名または記名押印）電話番号
- ⑤陳情の趣旨
- ⑥陳情の理由



\*東吾妻町議会議員の紹介がある場合は、陳情ではなく請願になります。紹介議員の署名または記名押印を追加し、「陳情」を「請願」にしてください。

\*定例会終了後、審議結果（採択、不採択など）を陳情者に通知します。



ましこきょうこ  
増子京子議員

## Question

誰もが挑戦できる  
農業の6次産業化について

## Answer

意欲ある生産者の  
6次産業化への展開に期待

**問** 先日、手作業で『干しいも』を作った方から、こういう加工品を東吾妻町のブランドとしてみてはとの、ご提案があった。他でも家庭菜園レベルだが、自分の育てた作物や加工品を世に出すチャンスがあればぜひチャレンジしてみたいとのご意見も多いので、イベントなどでご紹介してはいかがか。ビギナーズ農家、またそれに関する6次産業でわが町の農

業の裾野を広げる取り組みは必要と考えるが。

**町長** 農業のスキルアップを図る手段として、あがつま農業協同組合が開催する「野菜花き栽培相談会」にご相談を。また、6次産業であれば現在、「ぐんま6次産業化等イノベーションチャレンジ塾2025」が参加費無料で開催されている。イベント開催に際しては販売実績が評価として得られるため、販売

の取り組みを奨励する。今後の意欲ある生産者の6次産業化への展開を期待するとともに農産物販売により農業収入を得て、農業申告をして頂き、こうした農業者が1人でも増えることは大変喜ばしい事であり農業振興につながると考えている。



## 6次産業とは

農林水産業(第1次産業)が、食品加工・製造(第2次産業)や流通・販売(第3次産業)に主体的に関わることで、付加価値を高める取り組み。

地域のフリーマーケットに並ぶ特産品

## Question

終活支援で  
余生の不安取り除く施策を

## Answer

2027年創設予定の  
国の制度を考慮し検討するいのうえひでき  
井上日出来議員

## 携行版「安心カード」の配布を

今年3月の厚労省発表で引き取り手のないご遺体は全国で4万2千人を超えた。当町の「安心カード(医療情報救急キット)」は、担当課と民生委員の皆さんのご努力により、約91%の普及率を誇る。

**問** この「安心カード」は家に保管しており、万一外出時に倒れた場合、救急隊や病院、警察などがすぐに情報を得られない。財布に入れられる携行版「安心カード」を配布してはどうか。

**町長** 印刷されたカードは医療情報の更新に時間差が生じることもあり、今後連携が進む「マイナンバーカード」の利活用と先進事例を参考にしていきたい。

## 東吾妻町版終活支援のすゝめ

横須賀市「わたしの終活登録事業」は、年齢性別、収入、資産の有無は関係なく、終活情報を役所に登録できる。いざという時は病院、警察、消防などの他、本人指定の人物

からの問い合わせに役所が答えるという制度。また、同市「エンディングプラン・サポート事業」は身寄りなく低所得・低資産の高齢者の本人意思を生前に市と相談。最期のときの不安を取り除くという制度。

**問** この事業は死亡人の不明事項調査業務に掛かる行政の時間と労力を削減し、双方にメリットがある。当町も導入してはいかがか。

**町長** 令和9年から国の身寄りのない高齢者の支援制度が開始予定。動向と町の特性を考慮し、終活支援について検討重ねたい。

「相談できる人がいない高齢者」  
“ゼロ”の町へ

**問** 県の「令和4年度ひとり暮らし高齢者基礎調査」では、当町で「相談できる人がいない」方が19名存在。町長の指揮のもとアウトリーチ(訪問型支援)でこの19名をゼロにできないか。

**町長** 「とまり木プロジェクト」はじめ、移送支援、見守りパトロールが始まっている。民生児童委員の皆さまのお力を頂きながら、高齢者が安心して暮らせる町を目指したい。

## 「とまり木プロジェクト」みんなの居場所



みんなで集まって楽しいおしゃべり

国土交通省「住まいのエンディングノート」

二次元コード





# 常任委員会の活動

議会では、各委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

## 総務建設常任委員会

自転車型トロッコアガッタン



定例会中の委員会では、所管事務調査のほか、付託された令和6年度水道3事業（水道、簡易水道、下水道）事業剰余金処分及び決算認定の審査を行いました。

当該事業は、今後の人口減少による料金収入の減少や、施設維持管理費の増加が見込まれることから、委員からはさらなる事業効率化の推進、安定的な財政基盤の構築が重要であるなどの意見が出されました。

今回の委員会  
注目3事業!!



### 指定管理者選定について

あづま温泉桔梗館、自転車型トロッコアガッタン  
の2施設について、それぞれ公募参加者事業者あり。指定管理者選定委員会による審査・答申ののち、12月定例会に議案を上程したいとのこと。

### 遊休資産利活用事業

箱島地区では太陽光発電設置の土地造成が進行中。（土地賃借料約520万円／年）また、旧岩島第一小学校跡地については、地元説明会を開催し、その後土地売買契約を進めるとのこと。

### 公共交通バス体系の再編

坂上地区デマンド型バスの対象地域拡大とフルデマンドバス導入提案に基づき、路線再編について議論があった。委員より利用者目線からの改善が示された。

## 文教厚生常任委員会

9月8日に坂上小学校体育館と、中央公民館視察を実施しました。坂上小学校体育館は老朽化が進み、外壁劣化が著しいことを確認しました。中央公民館は、修繕済み部分は快適に利用できる一方、未修繕部分の落差が目立ちました。また、2階手すりの安全性を求めました。



坂上小学校体育館

### 民生児童委員について

12月の改選に向けて準備に努めている。欠員解消のため、業務をわかりやすく表したマニュアルを作成している。引き継ぎ時の同行支援など、体制強化を検討している。

### 中学生海外交流事業の状況

台湾の基隆市の中学校との交流事業は、相手方の都合により、本年度は中止となった。来年度以降の実施に向け、協議を継続していく。

### 学校施設整備・暑さ対策

坂上小学校体育館は老朽化が著しく、建て替えを含め検討中。また、近年の猛暑のなか、中学校体育館ではスポットクーラーで対応しており、冷暖房設備の必要性を指摘した。

今回の委員会  
注目3事業!!



# 特別委員会 その他 の活動

## ～予算決算特別委員会～

8月21・22日に、執行部に協力を要請し、当委員会と執行部による意見交換会を初めて開催しました。温川キャンプ場利用促進や町の農業政策など9つのテーマについて率直な意見交換ができ、今後の議会活動と町政運営の参考になればと思います。

また、令和7年第3回定例会中における委員会を9月9・10日の日程で開きました。今回は令和6年度一般会計歳入歳出決算認定審査を行い、認定すべきものと決しました。

## ～議会運営委員会～

8月25日に、ペーパーレス会議システムのデモンストレーションを行い、システムの概要や、使用方法等の説明を受けました。導入に向けた検討を、今後も進めていきます。

今年度の議会報告会は、11月9日に東吾妻町コンベンションホールでの開催に決定しました。報告会後には、町の食生活改善推進協議会の協力により、昼食を取りながらのカフェタイム（懇談会）を開催いたします。

また、11月20日には中学生議会を開催します。議会からの報告と、中学生との意見交換会を実施します。

## ～議会広報特別委員会～



9月29日に群馬県市町村会館において開催された議会広報研修会に参加しました。講師に一般社団法人日本経営協会の中本正樹先生を迎え、読まれる公報誌であるために必要な誌面作りのノウハウを中心に講義が行われました。特に企画編成過程における部分では実例を交えた説明もあり、今後の議会だより編集に生かしていきたいと思っています。

## 現在進行形の課題を協議 〈議員全員協議会〉

定例会中の議員全員協議会で協議された内容は以下のとおりです。

- (1)遊休資産利活用事業の進捗状況について
- (2)東吾妻町過疎地域持続的発展計画の更新について
- (3)コニファーいわびつの売却について
- (4)吾妻郡一般廃棄物処理施設の現況について
- (5)こども誰でも通園制度の概要について
- (6)東吾妻町立学校給食センター給食調理等業務委託事業について
- (7)坂上小学校体育館の整備について
- (8)指定管理者選定に係る経過報告
- (9)指定管理による事業運営状況の報告について



# まちの声

Voice of the town



## 「定年帰農者としての生き方」

中村 康雄さん（矢倉）

私のような生き方を「定年帰農」と言うらしい。故郷を離れ会社勤めをし、60歳で定年退職、その後就農することをいう。定年帰農には、昔からの農家の息子として親の背中を見て育ち、農業を肌で感じており、多くの場合農地を相続、農機具・倉庫などの設備も揃っているタイプと、農家に生まれたわけではなく、定年後に就農支援のための研修を受け、農地は農業委員会の斡旋で借り、蓄えた貯金中で中古の農業機械などを揃えて就農するタイプである。

私の場合は前者であり、就農において耕作地・農業資材等の就農時の基本要件には恵まれ、近所には顔見知りも多く、「〇〇の息子です」と言えば温かく言葉を交わしてもらえた。

定年時によく耳にしたのが「スマート農業」「有機農業」という言葉があった。ドローンを使うことに触手が動いた。でも中山間地の狭く、変形圃場には向かないし、退職者にとっては初期投資が大きい。したがってこの「スマート農業」は却下とした。農薬・化学肥料を減らし、環境負荷を軽減する有機農業、これも選択の一

つとも考えた。しかし、農薬工業会によれば、慣行農業と有機農業を比較すると収穫量は慣行農業の50～70%になるという。さらに有機農業を実施している二つの地域では、販売先に学校給食があるという。”児童生徒の安全安心のため有機野菜を届ける”という。児童生徒も減少している東吾妻町では展望は明るくないと思えた。一步踏み出すことを躊躇した。

雑草の茂る畑、大きくなった桑の木、取り壊された小学校、自分の育った地域の景色は変わった。さらに、父も含め親世代の方の多くは鬼籍に入った。寂しく、中山間地の問題を肌で感じた。国・自治体は農業の将来について中山間地も含め、農地の集約、大規模農家・農業法人の育成を掲げている。集約化・大規模化も一つの選択であるが、今の自分ができるのは、生まれ育ったこの地域の農地を農地として次の世代に渡せればいいと考えている。自分はその新しい農業体制ができるまでの”ワンポイントリリーフ”であればいい。そんな気持ちで、野菜作りと格闘している。

## 議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場3階の議会事務局までお越しください。

次回の定例会は12月4日開会予定

### 12月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4 ← 本会議	5 常委	6
7	8 常委	9 特委	10 全協 特委	11 休会	12 本会議	13
14	15 → 本会議	16	17	18	19	20

\*予定ですので、詳しくはお問い合わせください。  
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

## 編集後記

今号は9月議会の昨年度決算を取り上げています。しかし、もう年末はすぐそこ。来年度の予算編成が始まります。先日参加した議会広報の研修会では、「住民の声を編集に反映する」メリットや方法を学びました。この議会広報が住民と議会のプラットフォームになり、この広報がきっかけで町の予算編成にまで住民の要望が盛り込まれる、町執行部も議会広報の声を生かして予算編成する、そんな議会広報をみなさんと創っていきたいと思いました。ご意見はこちらの二次元コードからどうぞ。（斎藤 貴史）



### 議会広報特別委員会

委員長 重野 能之 副委員長 斎藤 貴史  
委員 増子 京子 委員 井上日出来  
委員 高橋 徳樹 委員 小林 光一  
委員 竹淵 博行

